

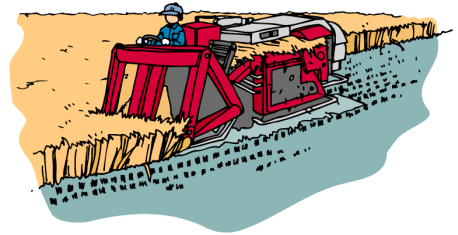
# 令和2年産米を生産をする農家の皆様へ

## 大切なお知らせ

福島県では、令和2年産米より、避難指示等のあった12市町村では「全量全袋検査」を、それ以外の地域においては、「モニタリング」に移行しますので、生産者の皆様の御理解と御協力をお願いします。

### ○全量全袋検査を継続する地域

田村市、南相馬市、広野町、檜葉町、  
富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、  
葛尾村、飯舘村及び川俣町（旧山木屋村）



○その他の地域はモニタリングへ移行しますので、以下の点にご注意下さい。

- 令和2年産米の検査は、旧市町村ごとに実施します。
- 令和2年産米の出荷・販売については、旧市町村ごとの検査結果が出るまで、控えてくださるよう、お願いします。

### <放射性物質検査の概要>

- ・モニタリングの結果が判明するまでは、無償譲渡を含む出荷・販売の自粛をお願いします。
- ・県では、旧市町村（昭和25年2月1日時点）ごとに3点のモニタリングを実施します。
- ・検査の結果、玄米から基準値を超える放射性セシウムが検出されなかった場合は旧市町村ごとに出荷・販売の自粛を解除します。

県産米の安全確保のため、農家の皆様には引き続き、収穫・乾燥・調製時の異物混入による二次的な汚染防止などの取り組みに御協力をお願いします。

○モニタリングの詳細は、県のホームページへ掲載します。

URL <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36035b/kome-monitoring-tirashi.html>

○ご不明な点は、県内各農林事務所農業振興普及部、各農業普及所または農林水産部水田畑作課にお問い合わせください。

■問い合わせ先 福島県農林水産部水田畑作課

TEL：024-521-7360

消費者・流通業者の皆様へ

## 令和2年産米の緊急時環境放射線モニタリングへの移行について

福島県では、県内で生産される全ての米を対象に全量全袋検査を実施し、安全性を確認してきました。

放射性物質の吸収を抑制するカリウムの追加施用などを徹底した結果、平成27年以降、通算5年間基準値超過が無いことから、避難指示等のあった12市町村（田村市、南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村及び川俣町（旧山木屋村））を除き、全量全袋検査からモニタリング検査に移行します。

避難指示等のあった12市町村においては、営農再開が進んでいない地域や新たに作付が行われた水田もあり、検査結果の蓄積が十分でないことから、全量全袋検査を継続し、米袋には検査済ラベルを貼付します。

モニタリング検査は、国が定めたガイドラインに基づき、旧市町村単位で3点実施し、旧市町村単位で基準値超過が無いことが確認されてから、出荷・販売されます。

モニタリング検査が行われる地域の紙袋には、野菜や果物と同様に検査済ラベルの貼付はありませんが、基準値を超過していないことが確認されたものでありますので、御安心ください。

福島県では、引き続き放射性セシウムの吸収抑制対策を徹底するとともに、異物混入による二次的な汚染を確実に防止するなど、県産米の安全をしっかりと確保してまいります。

福島県農林水産部